

## 第3回定例市議会が閉会

第3回定例会は9月25日に閉会しました。一般質問、委員会質疑、決算審査の報告をさせていただきます。



一般質問では、①土砂災害対策の基本姿勢について「土砂災害警戒区域の早急な指定が重要と考

(質問する福間)

注視し、県に積極的に働き

かけ、指定地域が増えることで、住民への危険性周知の徹底や防災意識の向上につなげたい」と土木建築部長答弁。

国民健康保険の「都道府県化」による被保険者へのメリットは「持続可能な国保制度確立が最大のメリット、新制度移行に向け、国保財政基盤の拡充、強化を図るよう国に強く要望していく」と市民部長答弁。③子どもの貧困対策の基本姿勢については「貧困が世代を超えて連鎖することなく、全て子どもたちが夢と希望を持って成長していけるよう努めたい」と福祉保健部長答弁④改正生活保護法の基本姿勢については「参議院公正労働委員会の7項目の付帯決議を踏まえ、今後も必要な人には確実に保護を実施するという生活保護制度の基本的考えで適切な保護行政に努める」と福祉保健部長が答弁。

## 厚生常任委員会質疑一子ども子育て支援新

### 制度に関わる4件の条例制定・改定に反対討論

●保育所、幼稚園、認定こども園など定員20以上の施設と、地域型保育園、定員数19名以下施設は、定員規模が小さいことを理由に、保育士の配置、自園調理の基準、障害児保育や乳幼児保育の加配など資格要件の緩和などが国基準となり施設・事業によって保育格差が持ち込まれることとなります。

## 家庭ごみ有料化凍結陳情

### オール与党が不採択に

●条例制定してから市民への説明会など逆立ちの姿勢であり、市民の納得・合意は得られていない。●有料化でゴミ減量効果は期待できない。●地方自治法の拡大解釈は許せない。●市民生活を圧迫する。●ごみ袋製造費の情勢判断ミス、指定ごみ袋製造費の高騰により、指定ごみ袋の値上げが懸念される。などの理由で採択を強く主張しました。

## 平成25年度決算認定に反対討論



決算審議は9月16日～24日まで行われ、25日に質疑・討論・採決がおこなわれました。

(反対討論する福間)

私は日本共産党を代表し

て、以下の項目で反対討論を行いました。

歳入では、○市民税・固定資産税負担、○手数料などの負担増、○消費税措置について

歳出では、○大型事業・大企業優遇の施策について、○行財政改革による職員給与削減、業務の民間委託、○自衛隊関連、不公正な同和行政など。

●決算審査を新年度の施策に生かしていくために、新年度予算への要求を提出します。(10月2日)

## 暮らし・地域の問題など

ご意見・ご要望をおよせください

### ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6  
546-4505 (FAX兼用)  
携帯090-2714-5612

